

持続可能な地域経済発展に向けたSDGs 事業創発サポート

SDGs診断ツール「KIBOH2030」

KIBOH2030

は、WEB上で約50の選択式の設問にご回答いただくだけで（所要時間約30分～1時間）、企業のSDGsのお取組状況やポテンシャルのある事業機会を見える化してチャートおよびスコアでご覧いただくことができる診断ツールです。



KIBOH2030の特徴

☑SDGs診断に係るコストを削減！
（人手と時間を大幅に節約可能）

既存の手法でSDGsの取組状況の評価するには、項目が多岐であるために時間と労力を要していました。

『KIBOH2030』ではWEBサイト上に設けられた約50の設問に回答すると、その場ですぐに結果の確認が可能です。所要時間は約30分～1時間です！

☑高い信頼性

本ツールの共同開発者である(株)TREEが、2018年から慶應義塾大学 SFC 研究所が運営する「xSDG・ラボ」との共同研究を通じ、金融プラットフォーム分科会にて金融庁と内閣府オブザーバーの元に議論を整理し一般公開した「企業のためのSDGs行動リスト ver.1」に基づいて設問を設定しています。

☑強み・課題を簡単に「見える化」

診断結果はチャートやスコアで表示され、SDGsの取り組みにおける強みと課題が見える化されます。

設問は、企業のESG（環境、社会、ガバナンス）への取組を、「経営管理」「環境マネジメント」「労働人権」「気候行動」の4つにカテゴリー化し、それに回答することでSDGsのセルフアセスメント（自己評価）を可能にしました。

ツール導入のメリット

▼取組状況を一元管理、
経年変化も自動でモニタリング

取組状況をわかりやすく可視化して、経年変化も自動でツール内に蓄積されていくので、事業計画の見直しや立案、また取組進捗の発信などにもご活用いただけます。

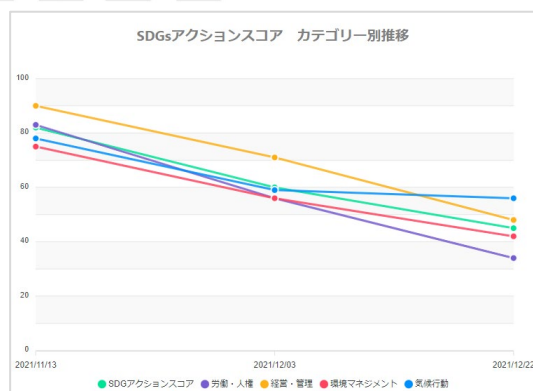
▼取組推進に繋げやすいよう可視化する事で、
SDGs「行動の10年」を後押し

各ゴール、ターゲットの中で現在達成度が高いものを把握すると共に、今後達成度を高めたいゴールに対して具体的にどんなアクションを取ると良いのか把握いただけます。

▼データ分析機能が充実

“オーナーアカウント”権限を所有いただくと、企業毎の取組はもちろん、業種や事業規模（従業員の方の人数）、所在地などの情報から、収集されたデータをさまざまなかたちで比較・分析できる機能がございます。

▼KIBOH2030 診断結果画面(例)



▽本システムに関するお問い合わせ窓口

（担当）日本工営株式会社：菊池、伊藤、九石／株式会社トゥーリー：瀬戸、本多
E-Mail：sdgs-kiboh2030-info@n-koei.co.jp

▽本システムに関するWEBページ

WEBページ：<https://kiboh2030.net/>

KIBOH2030

サステナビリティ・SDGs / ESGに関する取組み促進について お悩みがあれば、お気軽にご相談ください。



日本工営株式会社

私たちは、国内最大の建設コンサルタント会社として、安全・安心な生活、豊かな日常を支える社会資本づくりに関わるコンサルタント事業や電力エンジニアリング事業を通じて、創業（1946年）以来、世界各地で、持続可能（サステナブル）な社会づくりのために、人類が直面する様々な社会課題に取り組んでいます。

✓ 『サステナビリティ事業に取り組みたいが何をやればよいのかわからない』

✓ 『サステナビリティを地域に拡大したい』等、

皆様のサステナビリティに関する課題は日本工営にご相談ください。技術・専門的観点から、弊社が有するグローバル・国内ネットワークを活かして、ソリューションを提案いたします。

▼日本工営のサステナビリティ コンサルティング サービス領域（一部）

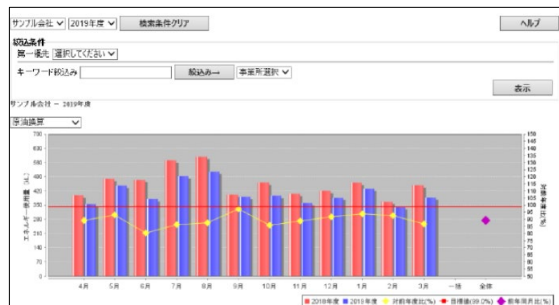
SDGs/ESG推進	脱炭素 (カーボンニュートラル)	再生可能 エネルギー	森林・生物多様性	環境・社会・人権 インパクト評価	気候変動リスク
食の安全 (サステナブル農業)	大気汚染対策 ・水環境対策	廃棄物 (サーキュラー エコノミー)	防災・減災	グリーンインフラ	スマートシティ エコシティ

その他、日本工営のサステナビリティ関連支援サービス一例

多施設エネルギー管理支援システム 「まるちーず」で省エネ推進

- 省エネ法及び地方環境関連条例に対応可能
- 公共施設やビル等複数の施設を簡単管理
- エネルギー使用状況を多面的に分析！

【エネルギー使用量の分析画面一例】



「防災プラットフォーム」で地域の安全・ 安心に繋がる災害対応・避難行動・防災 活動を支援

- 浸水予測や観測値を可視化し、リアルタイム情報で支援
- これまで個別に存在していた複数の情報を一元的に画面上に集約・表示

【リアルタイムの氾濫解析画面一例】

